

2016年度 第4回常任幹事会議事録

●日時

2017年3月11日(土)
14:00～16:00

●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 521教室

●出席者

甲斐光省 [副会長]
小山 弘 [事務局長]
土橋洋一 [常任]
西田一成 [常任]
桜井裕美 [常任]
浜村圭一 [常任]
松岡和彦 [常任]
白石龍子 [常任]
石谷徳仁 [常任]
小山優子 [常任]
勝山昌幸 [常任]
山田直毅 [常任]
藤原成理 [常任]
上村晴美 [常任]
荒木舞子 [常任]

●委任欠席者

秋元圭一 [会長]
三好耕之 [常任]
大村政幸 [常任]
永吉昭浩 [常任]
大野美菜子 [常任]

(常任幹事15/27名 定足数成立)

●議事進行：藤原成理

●議事録

書記：石田 恵 [学生]
校正・制作・文責：大村政幸、
藤原成理、小山 弘

■ 事務局より

事務局長の小山氏から名簿処理について報告があった。

小山：名簿管理と事務局長の引き継ぎ中であったため、一部データに抜け落ちがあり2016年度卒業生の方（91名）に同窓会ニュースを送信できませんでした。

「私のミスで大変申し訳ありませんでした。」との報告があった。

■ 秋元会長の欠席について

小山：秋元会長の常任幹事会への欠席について、メールで連絡があったのでご報告します。「病気の療養のため入院していました。現在は心配いらないが、体調が回復するまでしばらくは同窓会には出席できません」とのことです。

ご本人は「なるべく早く出席したい」という意向でした。

松岡：秋元会長が卒業式に欠席となるため、「会長挨拶」は副会長の日野さんが代行します。

西田：2016年度の常任幹事会は本日で終了しますが、2017年度からはご本人の意向を尊重して、会長職を継続していただくのか、新たに選出するなどの検討をするのでしょうか？

小山：ご本人は継続したいという意向がありますので、しばらくは連絡を入れながらフォローして経過を見ていくことにします。

松岡：常任幹事会としては、5月までに復帰していただけるという見通しで、運営してゆくということによるのでしょうか？

※出席者からは異議が無かった。

■ 議題1 卒業制作展の「同窓会賞」について

【資料A参照】

山田：卒業制作展の来場者（同窓生）に投票していただき、開票を行なった。来場者数650名、投票数84名、昨年より20名ほど増えた。同窓会賞の数は合計9賞で学校の「優秀賞」とは重複しており、絵画科は科長からの推薦で得票数の多かった櫻井さんがダブル受賞。

また、研究科科長の馬場先生から投票後に、得票数で次点だった田島さんを推薦したいとの要望がありました。得票数としては高橋さんが一番多いのですが、学生や先生から見てもふさわしい人に受賞してほしいので、同窓会賞を変更願えないかという事です。

小山ゆうこ：高橋さんは卒業できたのですか？

松岡：研究生なので「卒業」ではなく、「修了」となります。

山田：受賞者の選考の際、科長の意向を加味するのかについてが今後の課題になると思います。

甲斐：同窓生が自分の価値観で票を入れているので、その結果を尊重すべきと考えます。馬場先生の気持ちは理解できるが、受賞者の選考に反映させるのは違うと思います。

松岡：過去にもこうしたことがあり、学校の賞と重複しても良いということで判断してきました。絵画科は卒業生が4名なので、優秀賞の生徒以外は賞にふさわしいレベルではないということで、櫻井さんに決定しました。学校としては卒業に影響するので、あと一步レベルに達していないからといって「展示させない」という判断をするのは難しいことです。先生のサポートもあって展示できている生徒もいるので、「作品の見栄え」が良かったから賞を与えることになるのは問題もあります。もし投票結果のみで受賞者を決めるなら、学校側に判断を求めなければ良いと思います。しかし、卒展に来場する投票者は学校の教育的なことには関係なく選ぶので、これまで判断が難しい場合には、担当の先生に伺ってきたという経緯があります。

甲斐：同窓会賞は学校の「教育的な判断」から独立させて選んで良いと思います。社会に出た人たちが見て「それが良い」と思って投票した結果を尊重しなければ。

上村：馬場先生から高橋さんに受賞を辞退するように促すというのはどうでしょう？

土橋：先生にも好みがあり、普段の授業でも先生の好みで作品を評価します。生徒の中には異論がある者もいて、（学校の評価とは違う作品が受賞することで）様々な価値観があって良いと学ぶ機会にもなるので、同窓会賞はできたものを見てシンプルに判断するということが良いと思います。

山田：同窓会として判断の基準を決めることが大切。開票時に1位と僅差の場合などは、どう判断するのが難しいことがあります。元々の票数が少ないし、投票ルールを守っていない人もいるので、2票の差くらいは誤差の範囲ともいえます。「1位から次点までを同窓会からの推薦として提示して、同票の場合は先生に委ねる」など、ルールが決まっているほうが良いです。同窓会で決めるのが難しい場合などは学校の判断が入った方が良くと思います。

甲斐：今回の場合、高橋さんと田島さんの得票数の差は明確ではないでしょうか。

西田：同窓会の方々も遠くから来場して投票しているのでそれを尊重し、集まった票を純粋に集計して結果とするほうが良いと思います。

石谷：制作のプロセスは来場した同窓会の人や一般の人には把握できないし、社会でも（プロセスに関係なく）結果だけで評価されることもあります。「結果に出さないとダメ」という現実があることも学生には知ってほしいです。

山田：今後は投票の結果で判断したいので、学校側にも票を入れてもらうという考え方はいかがでしょうか？

甲斐：賞を発表した時に学生たちが「社会の人はこう見たんだ」「こういう作品が評価されるんだ」とか、「先生の言うこととは違うな」みたいなことを感じとることも大事だと思います。

松岡：同窓会賞は卒業式の中で表彰するので、（同窓会が独自にやっているというのではなく）学校との関わりの中で賞を与えることになります。作品は教員と学生とが一緒に作り上げてきたものなので、学校としての判断を取り入れるのも大切だと思います。

甲斐：学校と同窓会で正式に話して、それぞれに独立した賞として選んだ方が良いと思います。

西田：学校賞、同窓会賞としてそれぞれ独立したものにすれば良いし、同窓会員が足を運んで投票するという意味があるので、投票結果を純粋に反映させる方が良いと思います。

白石：「一人一票入れているんだ」という責任や意識を持ってもらうために、投票用紙に氏名を書くとか、投票をもっと「厳正な方法にする」というのはどうでしょう？

石谷：以前「朝の会」の投票でも同数だったことがあり、厳密にやり直したことがありました。

山田：私は氏名を書いてもらうという形にしたいです。また提案ですが、学生（3年生）にも投票権を与えるということも検討していきたいです。全員それぞれに投票ということではなくて各科から1票みたいな形で加算したり、同窓生の票だけだと僅差になりやすいので、学生の票も入れて集計したらどうなるのかなど、投票から集計の方法に検討の余地があると思います。

土橋：投票を「同窓会」と「学校」と「生徒」の3種類に分けて行い、集計するというにすれば良いのではないのでしょうか。

山田：今の方法よりは少し公平になると思います。

小山ゆうこ：私は制作のプロセスがわからない中で、（作品だけを見て）投票するのが良いのかなと思っていました。

山田：生徒からの票は自分の科ではなく他科だけに投票するなどルールを決めて、それぞれ集計した後に得票の多い4位までの作品に科からの票として加算するなどの方法が考えられます。

西田：まだ我々が開票結果を知らないうちに学校側から要望を聞くのはやめてほしいです。

同窓会の中で選考して「この人に決めました」というので良いのではないのでしょうか。

松岡：今回のことは、受賞の結果が出た時に研究科の科長からお願いがあったので、それに対して同窓会がどう判断するかということになると思います。

土橋：学校と同窓会とでは立場が違うので、得票数で決めるということで良いと思います。

山田：票差が少ない場合に、それだけで決めてしまって良いのかが迷うところです。僅差だったら学校に任せて良いのではないかと思います。

白石：キャラクターデザイン科には同得票の生徒がいるのに、片方の生徒が選ばれています。何か違いはありますか？

松岡：選ばれている方の生徒は、この卒業制作のために作品を制作したということが評価につながりました。

白石：それであれば（あまり差がないと言えるので）2等賞ということで、賞を2人に分けてもいいのかなと思います。得票を得たということには変わりがないと思うので。

松岡：学生と卒業生では評価が大きく異なった作品もあります。

小山：（研究科の話に戻って）高橋さんに「同窓会賞」、田島さんに「努力賞」とするという別のアイデアも考えられるでしょう。

山田：賞を増やすことは（作業的に）煩雑になってしまうので、反対です。

石谷：基準をその都度変えるというのは良くないと思います。ここで決まったことを遵守して、維持していく方が良いと思います。

《ここで研究科の受賞についての採決を行った》

小山：得票数を尊重して高橋さんに賞を差し上げるという方が多数だったので、決定します。

山田：同得票の場合に「学校の意向を反映するか」、賞の分配や生徒からの投票などについての検討については、次回以降に継続審議するという事にさせていただきます。

松岡：卒業に関係して、新幹事の選出について話したいと思います。今年度の卒業生について幹事の選出を学校側にお願いしていますが、「幹事は何をするのか」ということを聞かれたので、先生には私から説明しました。「先生が決めることなのか」という声があったので、今年は「推薦していただいて、生徒に同窓会から資料を渡し内容を説明します」と伝えてあります。今後の幹事選出方法などについては幹事会で検討していきたいと思います。

小山：同窓会の活動を簡単なリーフレットを制作しておけば、説明しやすいのではないのでしょうか。

松岡：（事前に情報が無いと）「大変なことをやらされるのではないか」と思っている生徒もいます。

■議題2 総会&パーティーについて

【資料B参照】

小山：先日、「企画書」を提出して学校側（三輪校長・早見先生）とお話しをしました。

- 開催日 2018年3月3日（土）
※20時までに鍵をかければよいという話だったので、
現在の計画より終わりの時間を遅くすることは可能。
- 会費 2000円
- 動員目標 200人程度
- テーマ「タイムマシン」
- パーティーの基本は歓談を中心にする。（温泉型の会場配置）
会場には映像を流したり音楽を流したりする。

2月24日に行った話し合いについて【資料C参照】

- 予算について概算なので、実際には展示の制作物などの費用等でもっと高くなると想定している。音楽編集は同窓生の方に手伝ってもらう予定で、常任幹事が中心となって人材を集めることも検討する。

勝山：新たに期間限定でFacebookページを開設します。

石谷：企画アイデアとリスク（出来ないこと）のバランスをとったり、校内の導線をどう考えるかなどは関係者でないとわからないことがあるので、学校関係の方が中心になって「リスク管理」をやっていただきたいです。

Facebookのページを作ったら告知のタイミングで、「総会&パーティーについてのアイデアを出してください」と発信すると良いと思います。Facebookを使っている人は多いので、情報が取り込みやすくなります。なるべく早い段階で実施していくと効果的だと思います。

小山：展示する「昔の写真」や「記念品」についてもFacebookを使って呼びかけてアイデアを募るのはいかがでしょうか？

石谷：アイデアが採用になったら何かプレゼントなどのメリットがあると良いと思います。

実際にできるかどうかは学校関係者に負担がかかると思うので、やることを整理して学校関係者以外の人にも役割を分散すると良いでしょう。

小山：できる限り事前の計画をきちんと立てて、負担を軽減していく方向で考えています。

石谷：（各係や学校との）緩衝材になる人がいた方がやりやすいと思うが、その人だけに負担が集中しないように考えていきたいです。

勝山：「立ち入り禁止」の部分を演出的に使ったFacebookのトップページを制作しました。

藤原：招待する方のリストを早いタイミングで考えていきたいです。ご招待となる方以外にもお呼びしたい方々がいるので、声をかけていきたいと思います。例えば、前に職員だった方とか、戸締まりやお掃除の方などにも「会いたい」ということで参加する人が増えるのではないかと考えています。

小山：アワードについて、今回は見送りたいと考えています。テーマが「タイムマシン」なので、内容的に合わないと感じています。物理的にも教室が分かれているので一箇所に人を集めるのが難しいということもあります。アワード自体は辞めるのではなく、4年後にまた復活できるように進めてもらいたいと思っています。アワードをどのように決めるのかということもあります。HPで毎年活躍した人を発表していき、パーティーで表彰するなどの方法も考えられます。

勝山：アワードを実施するには選定委員を決めなければなりません。SNSで情報を吸い上げて、準備すべきことを整理していきます。

小山ゆうこ：アワードは「ぜひやりたい」という人にやっていただきたいです。

小山：会場平面図について【資料D参照】

写真は卒業パーティーの様子です。会場のイメージはこのような感じになるのではないかと想定しています。おおよそ1教室に120人くらいで一杯になるのではないかと考えられます。ケータリングについては200人分で、浜村さんと西田さんにも検討してもらっています。

浜村：全体の予算感がつかめていないのですが、余裕があるなら懐かしい駄菓子や話題になる演出などもあった方が良いのではないかと思います。

小山：ケータリングについてと「懐かしいもの」や「面白いもの」などの企画やアイデアは、みなさんで出していきたいです。

会場の配置は423の方に舞台を置いて、122の方に展示などを考えています。

石谷：バスツアーのように時間を決めて校内を案内するという企画も良いと思います。

松岡：422の方にはマイクやスピーカーが設備されています。プロジェクターも何かに使う予定なら422の方に常備されています。

小山：時間帯で会場を分けるという考え方や時間の使い方なども含め、今後の話し合いで検討していきます。

■その他

松岡：2019年度から「職業大学が認可される」ため、現在学校側でも大学に向けて検討しています。文科省の方で設置基準がまだ決定しておらず、最終的に申請して職業大学にするかもまだ決まっていません。仮に大学になった場合、今後、同窓会をどのように維持していくのか、皆さんの考えをお聞きしたいです。

藤原：大学になる方向だと専門学校を閉じることになるのでしょうか？

松岡：それも検討中です。しかし、科の再編成は確実ではないかと思います。その場合は科名が変わるので、名簿管理の方法も変わっていくと考えられます。

藤原：これまでは、予備校だった時代にいた人も学園の同窓生として考えてきたと思うので、学校の運営種類によって同窓会を分けるというよりも、同じ学園の同窓会として統合していくという考えの方が良いのではないかと思います。数は少ないですが、個人的には日本装飾美術の卒業生も同窓会に入ってもらいたいと思っています。

小山：（学校長とお話した感じでは）場所も現在の規模でスタートする予定との事で、大きく変わるというイメージではないようです。あくまで職業大学として名称を変えていくくらいの捉え方で良いのかなと思います。その中で同窓会は立場をどうしてゆくのかを考えれば良いのでしょうか。

女子美術大学は工芸高校から専門学校、短大、大学になって、同窓会と一緒に運営しています。今年100周年との事です。基本的には一緒に継続してやっていくという印象を受けました。

石谷：昔も大学にするという話がありました。現在は一般の大学にも定員割れが出ているので、学校で方向性が決定してから話しても良いのかなと考えます。

松岡：現在の設置基準では敷地面積があるがそこは難しいので、文科省が敷地面積を緩和するのではないかという話もあります。実際には基準が出てみないとわからないです。

以上で会議は閉会した。

次の開催は5月13日（土）14：00～16：00（2017年度第1回常任幹事会）

『卒業製作展・同窓会賞』

投票用紙(アンケート)・筆記具・投票箱の準備
開票作業と告知

●卒業製作展

- ・全体来場者: 名
- ・同窓生来場者: 名
- ・投票数: 84票
- ・授賞数: VD科2賞・CD科2賞・研究科を含むその他の科各1賞(計9賞)

◎受賞者

- 【VD・視覚デザイン科】 鈴木逸海 「きまぐれ食堂」
- 【VD・視覚デザイン科】 西山瑠 「にしやまりゅう」
- 【CD・キャラクターデザイン科】 日暮梨花 「姫きゅん♡はんど!」
- 【CD・キャラクターデザイン科】 武藤聖馬 「AKO」(アコ)
- 【FM・映像メディア科】 西村真奈 「君がいるならきつと大丈夫」
- 【LD・リビンググラフィックデザイン科】 佐々木一帆 「東京街荘」
- 【IC・イメージクリエイション科】 鈴木彩夏 「MEMORY BUGS」
- 【FA・絵画表現科】 櫻井美幸 「reverie」(レヴアリー)
- 【AS・研究科】 田嶋菜々子 「アトリエ -Atelier-」

『卒業式・パーティ』(3/15予定)

賞状(盾)と賞金(1万円×9)の準備
パーティへの助成(10万円)
新幹車の選出(選考中)

●卒業式

会長代理として日野副会長が出席予定。
賞金とアクリルフレーム入りの賞状を授与。

●式後パーティ

日野、山田、出席予定
新幹車の紹介。

◎2016年度卒業生幹事

- 【VD・視覚デザイン科】
- 【CD・キャラクターデザイン科】
- 【FM・映像メディア科】 酒井彩貴
- 【LD・リビンググラフィックデザイン科】
- 【IC・イメージクリエイション科】
- 【FA・絵画表現科】
- 【AS・研究科】

●2016年度 予算収支

『収入』

OB支援口座より引き出し: ¥208,000-

『支出』

- 2/18: ケント紙(投票用): ¥1,350-
- 3/2: アクリルフォトフレーム(賞状額): ¥6,090-
- 3/5: のし袋・用具: ¥1,188-
- 3/6: レーザープリンタ用紙: ¥640-
- 3/6: カラーコピー代: ¥900-
- 3/11: パーティー助成金: ¥100,000-
- 3/11: 賞金: ¥90,000-
- 3/11: 同窓会賞準備交通費: ¥1,600 (日野)
- 3/11: 同窓会賞準備交通費: ¥2,880 (山田)
- 3/11: 同窓会賞準備交通費: ¥1,720 (藤原)

計: ¥206,368- (残金: ¥-1,632)

2016年度 同窓生在校生支援委員会 活動予定

- 卒業制作展、同窓会賞の表賞
- 卒業式後のパーティへの助成・参加

●予算: ¥210,000-

◎内訳(2016年度実績より)

- ・パーティ助成金: ¥100,000-
- ・賞金: ¥90,000-
- ・額縁: ¥6,000- (アクリルフレーム)
- ・その他: ¥9000- (コピー代、用紙、用具、のし袋、送料、振込手数料、等)
- ・同窓会賞準備交通費: ¥5,000-

阿佐ヶ谷美術専門学校同総会
総会 & パーティー

企画書

アサビ同窓会
2017.2.9

開催日

第一希望：2018年3月3日（土）

第二希望：2017年11月4日か18日（土）

予定時間

12：00 準備

14：30 総会 & パーティー開会

17：30 閉会

18：30 撤収

会 費

2000円（前回4000円）

パーティー会場 阿佐ヶ谷美術専門学校

421室：パーティー会場

123室：展示・談話室（椅子50脚設置希望）

422室：控え室（クローク）

目標参加者数 200名程度

テーマ

母校が会場という利点を生かし、
学生時代に戻って楽しんでいただく。
過去に戻る事をテーマに「タイムマシン」で決定。

パーティー内容

参加者の教室での**歓談を基本**に。
すべての年代にご参加いただき、
出来るだけ多くの先生、職員の方とともに、
楽しく会話できる時間を提供したい。

会場には年代別の懐かしい曲を流す。

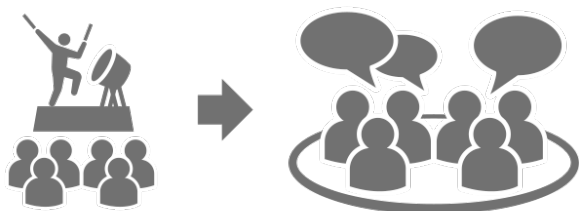
モニタに当時の画像、
映像をランダムに流し会話が弾むような演出。

総会時間とビンゴ大会はできるだけ短く。

企画展示（未確定）

卒業式や学生時代の写真を提供してもらい展示する。
屋上から街の風景をご覧頂くスペースを用意。
同窓会賞の受賞者の作品を展示させてもらう。
卒業生の作品など販売コーナーを設けて希望作家が販売する。

会場のイメージ



従来：盆踊り形

温泉形

ゆるやかで気分の良い時間

- ・ なつかしい場所
- ・ 思い出話
- ・ 安心出来る雰囲気

必要機材（未確定）

プロジェクター
スクリーン
机
椅子
パネル等の展示物を貼るための壁

ケータリング（未確定）

ケータリング専門業者業で一括で委託するか、
パーティー関連の配達業者を個別に探す。

注意点

ご年配の方、ハンディのある方の誘導方法は？
キッズスペースの設置は？
通路や会場までの誘導は？

その他

当日手伝っていただける学生を募集
ネットや SNS を使って情報を定期的に発信

第3回 総会&パーティー打ち合わせ内容

学校との打ち合わせ内容報告

2017年2月9日新高円寺にて企画を説明、以下の内容で了解いただきました。
また、先週には三輪校長より学校関係者の会議でお話し頂きましたので下記の内容で確定です。

【参加者】

- ・三輪校長 早見先生
- ・日野高 甲斐光省 小山弘 小山ゆうこ

【開催日】 2018年3月3日（土）に決定

- ・教室は20時まで使用可能

【使用費】 150,000円

【使用教室】

- ・422室 423室 122室 123室

※今後も学校側と話し合いの場をつくるようにする

【予算について】

過去3回の総会パーティー予算と照らし合わせて経費を概算

・運営費	500,000円	
・会場費	150,000円	
・ケータリング	500,000円	
・会議費	800,00円	
・通信費	300,000円	
・交通費	300,00円	
・用品費	50,000円	
・景品費	100,000円	
・雑費	10,000円	
		合計 1,630,000円

【展示企画について】

- ・学校に昔の写真を見せてもらえるか、また貸してもらえるか確認を取る
11日常任幹事会にて報告（担当：甲斐氏）

- ・昔の仕事道具を展示する。
- ・まんが計画：冊子のみ販売。

【会場作り】

- ・学校案内のミニ冊子を製作する。その中に「4コマまんが計画」を載せる。
- ・デザインコードに合わせて学校をタイムマシーンに見立て、立ち入り禁止区域など殺伐としないよう演出する。
- ・音楽は村田氏とお会いして進める。
- ・映像は素材を用意し木暮氏（キャラデ助手）にお願いしてみる。
- ・ステージを撮影し、もう一つの会場にモニターで中継できるか。
- ・イスはできるだけかたまらないように置く。
- ・テーブルがわりに小さい箱を置く。
- ・バスツアーに見立て希望者に学校案内をする。
- ・スタンプラリー。

【景品について】

3点ほど用意する

- ・体験型ギフトを菓子折りの底に忍ばせる。
- ・旅行券、お食事券、バスツアー、クルージングなど。
- ・当選方法は名札を箱に入れくじ引き。

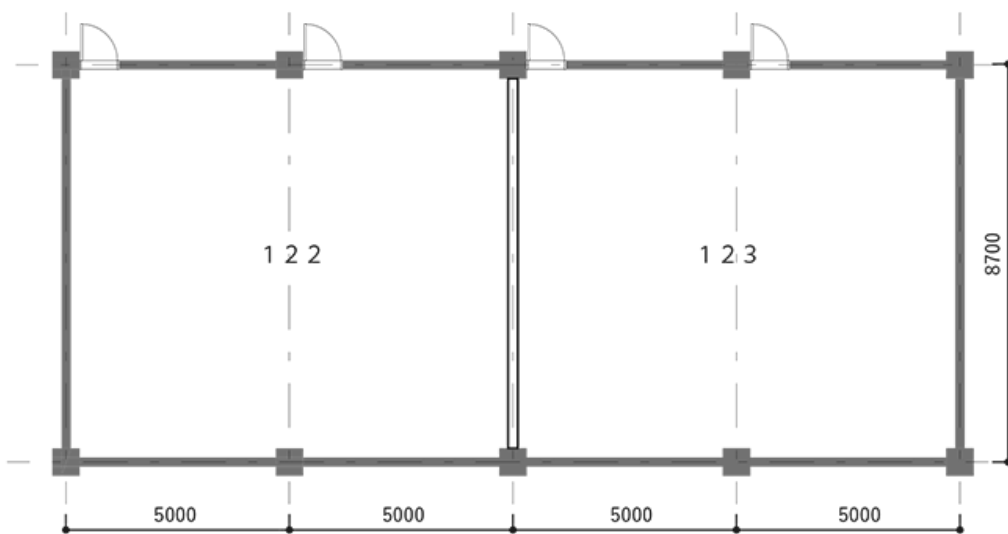
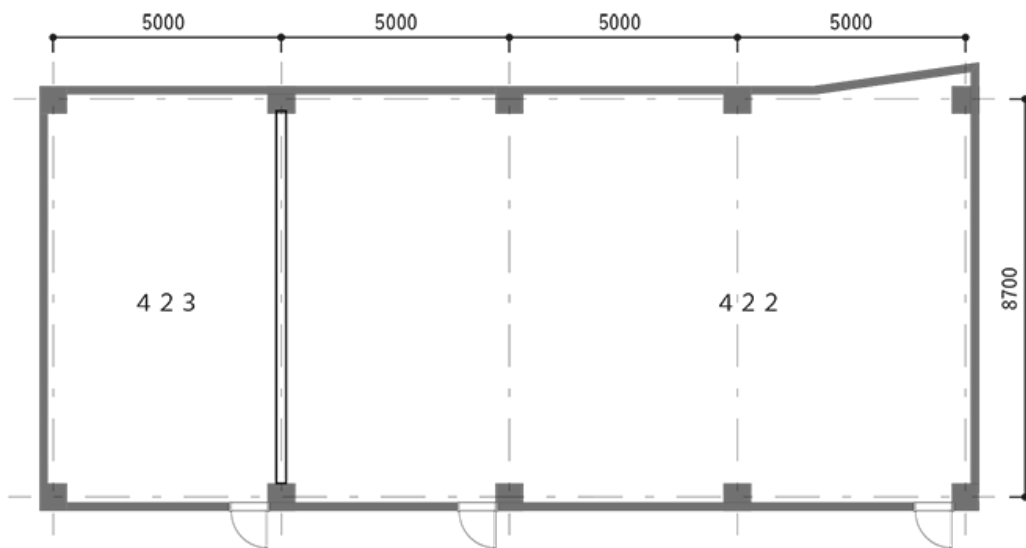
【事前告知】

- ・フェイスブックに登録。当日に向けて活動している様子をアップする。
委員全員が書き込めるようにする。（担当：勝山氏）
- ・告知を早めに発信していく。

【その他】

- ・当日はお酒など持ち込み歓迎

【資料D】



縮尺 1/50